



教員が研究の楽しさを語る

第218回(4/23)久保 勇 先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

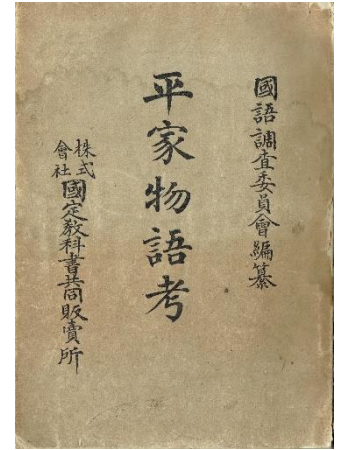
平家物語考 (国語史料鎌倉時代之部 平家物語につきての研究 前編)

※千葉大学附属図書館では復刻版を所蔵しています。

著者：国語調査委員会編

出版：国定教科書共同販賣所，1911.12

コメント：『平家物語』を対象とする近代学術研究の金字塔的成果。鎌倉時代語研究にあたり最善の本文を確定するため、諸本本文を整理・分類し、延慶本の古態性を明らかにした。学部生当時、この本を国会図書館で閲覧したのが「研究」に対する原体験となった。



Book2

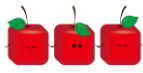
源平闘諍録：坂東で生まれた平家物語 上・下

著者：福田豊彦，服部幸造

出版：講談社，1999.9-2000.3

コメント：一般的な『平家物語』（覚一本）には登場しない「千葉氏」の活躍が独自に描かれている。「千葉」の町を拓いた一族の物語であり、現在千葉市が取り組んでいる「千葉開府900年」に向け、千葉で学ぶ学生にも知ってもらいたい『平家物語』の一異本。





※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book3

『平家物語』の再誕：創られた国民叙事詩

著者：大津雄一著

出版：NHK出版, 2013.7

コメント：『平家物語』が近代日本においてどのように読まれてきたか、という問題を論じている。古典文学の「読み」が、研究者や作家など、古典をとりまく人々の意図と密接に関わってきた史の実態を明らかにする。「平和な時代に軍記を読む」ことを考えるためにも有益な一冊。

